

ALOS-2/PALSAR-2 データを用いた 弥陀ヶ原における SAR 干渉解析結果*

InSAR analysis around Midagahara revealed by ALOS-2/PALSAR-2 data

気象庁気象研究所

Meteorological Research Institute, JMA

1. はじめに

2014年5月に打ち上げられた国産のLバンド SAR 衛星 ALOS-2/PALSAR-2 データを用いた弥陀ヶ原周辺における干渉解析結果について報告する。

2. 干渉解析結果

2014年10月と2015年10月の北行ペア及び2014年10月と2016年5月の南行ペアについて解析を行った(第1表)。いずれのペアにおいてもノイズレベルを超えるような位相変化は検出できなかった。なお、2016年5月29日のデータは積雪の影響を含んでいる可能性がある。

第1表 解析に使用した ALOS2/PALSAR-2 データ

Table1 ALOS-2/PALSAR-2 data used in this study

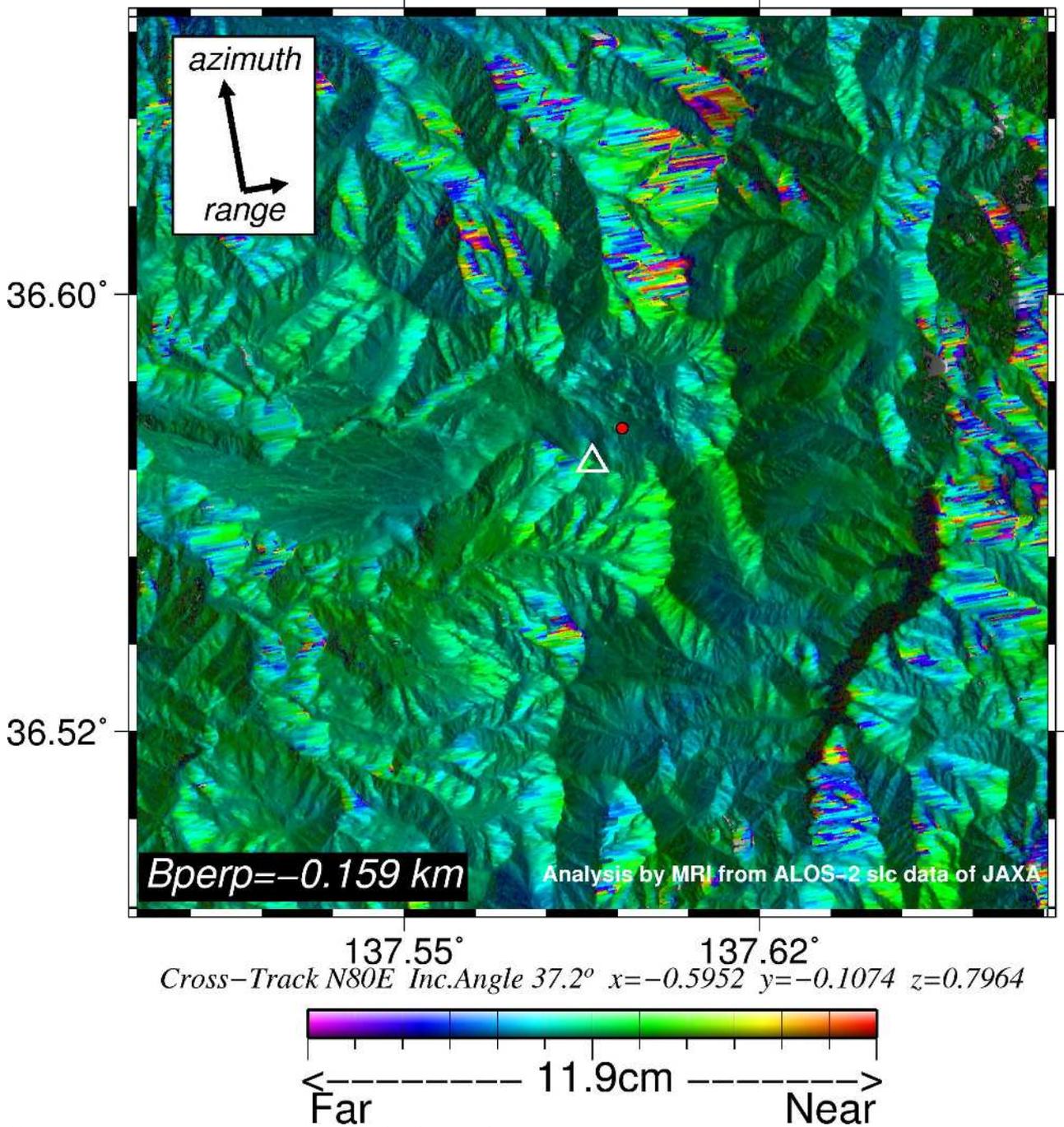
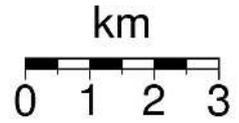
Path-Frame	Orbit	Looking	Data1	Data2	Figure No.	LOS displacement
126-720	Ascending	Right	2014.10.03	2015.11.13	Fig1	-
20-2870	Descending	Right	2014.10.05	2016.05.29	Fig2	-

謝辞

本解析で用いた PALSAR-2 データは、火山噴火予知連絡会が中心となって進めている防災利用実証実験(衛星解析グループ)に基づいて、宇宙航空開発機構(JAXA)にて観測・提供されたものである。また、一部のデータは、PIXELで共有しているものであり、JAXAと東京大学地震研究所の共同研究契約によりJAXAから提供されたものである。PALSAR-2に関する原初データの所有権はJAXAにある。PALSAR-2の解析ソフトウェアは、防災科学技術研究所の小澤拓氏により開発されたRINCを使用した。また、処理の過程や結果の描画においては、国土地理院の数値地図10mメッシュ(標高)を元にしたDEHMを使用した。ここに記して御礼申し上げます。

* 2016年9月12日受付

2014/10/03-2015/11/13
406 days

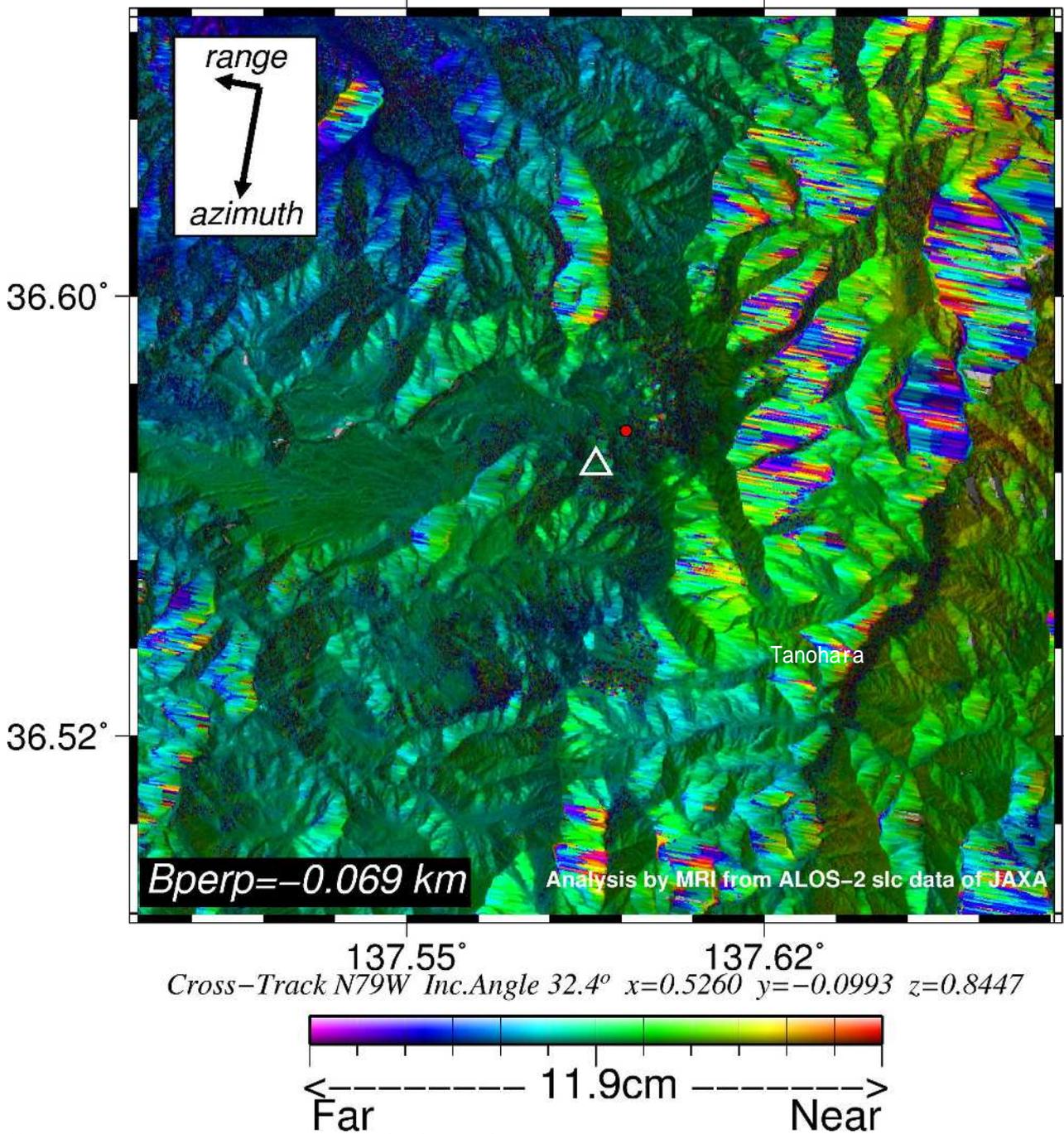
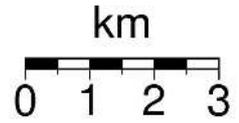


第1図 弥陀ヶ原周辺における干渉解析結果 (パス 126-720)

図中の丸印は GNSS 観測点 (橙: 国土地理院) を示す。

Fig.1 Interferogram generated from ALOS-2/PLASAR-2 (Path:126-720) in Midagahara. The red circle indicates continuous GNSS stations of GSI.

2014/10/05-2016/05/29
602 days



第2図 弥陀ヶ原周辺における干渉解析結果 (パス 20-2870)
凡例は第1図と同じ。

Fig.2 Interferogram generated form ALOS-2/PLASAR-2 (Path:20-2870) in Midagahara. Color circle is same as Fig.1.